資料　6

「国連生物多様性の日」シンポジウム（韓国）への参加
～J0051 がつなぐ日韓の架け橋～

韓国で開催される「国連生物多様性の日」シンポジウムで、コウノトリ野生復帰の取り組みと地域経済活性化についての基調講演を行う。

1　基調講演までの経緯

⑴　2014 年３月に豊岡（出石町伊豆）生まれのコウノトリ（J0051）が、韓国金海（キメ）市の花浦川（ファポチョン）湿地に舞い降り、その後、韓国各地に飛来した。

飛来した先々で、観察者が急増するなど、韓国内では、J0051 が生まれた豊岡に対する関心が広がっている。

（J0051 は、平成 27 年４月 23 日に豊岡へ帰郷する。）

⑵　最初に飛来した集落は、故ノムヒョン大統領の生誕地である。同地域では生態系に配慮した農業が営まれ、今後コウノトリ野生復帰をシンボルとした生物多様性保全および経済活性化を進めたい意向である。

⑶　今回、慶尚南道ラムサール環境財団の主催により「国連生物多様性の日」のシンポジウムが開催される。中貝市長は、コウノトリ野生復帰の取組みと地域経済活性化の先進事例を紹介してほしいと招待され、参加する。

2　シンポジウムの概要

⑴　日時

平成 27 年５月 21 日（木）　13：30～17：10

（※「国連生物多様性の日（５月 22 日)」の前日）

⑵　場所

韓国昌原（チャンウォン）市（チャンウォン エキシビション コンベンション センター）

⑶　事業名

Symposium on Biodiversity Conservation and Ecotourism

（生物多様性保全とエコツーリズムに関するシンポジウム）

⑷　主催

慶尚南道（キョンサンナムド）ラムサール環境財団、昌原市

⑸　参加者

約 120 人

(6) スケジュール（予定）

時　間	内　　容
13:30～13:40	開会式
13:40～14:20	**＜基調講演＞** **コウノトリ野生復帰と地域経済の活性化** **講師：豊岡市長 中貝宗治**
14:20～14:45	＜事例報告１＞ エコツーリズム活性化の国家戦略と成功事例 報告者：ソウル国立大学　カン・ミヒ
14:45～15:10	＜事例報告２＞ 湿地生態系における生物多様性の保全と利用 報告者：昌原市　チェ・オクファン
15:20～17:00	＜ディスカッション＞
17:00～17:10	閉会式

3　市長旅程

日　程	内　　容	備考
5／20（水）	豊岡　⇒　関西空港　⇒　韓国・金海空港	金海市
	花浦川湿地視察 ポンファ村視察及び湿地関係者とのミーティング	
	金海市　⇒　昌原市	
5／21（木）	チュナム貯水池（渡り鳥の生息地）視察	昌原市
	シンポジウム **基調講演**	
5／22（金）	昌原市　⇒　昌寧郡（チャンニョン）	昌寧郡
	トキ復元センター視察	
	韓国・金海空港　⇒　関西空港　⇒　豊岡	

※　市長随行者　コウノトリ共生課 コウノトリ共生係長　成田和博

〔問合せ〕豊岡市コウノトリ共生課　TEL　0796-21-9017